資料2-1

令和6年度　第１回　高知支部評議会

令和5年度　事業報告について

令和6年7月9日

全国健康保険協会 高知支部
協会けんぽ

目次

令和5年度ＫＰＩ達成状況 ---------- １～３
（１）基盤的保険者機能
• サービス水準の向上 ---------- 4
• 現金給付の適正化の推進 ---------- 5
• 被扶養者資格の再確認の徹底 ---------- 6
• 柔道整復施術療養費の照会業務の強化 ---------- 7
• 限度額適用認定証の利用促進 ---------- 8
• 効果的なレセプト点検の推進 ---------- ９～11
• 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進 ------ 12
（２）戦略的保険者機能
• 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上 ---------- 13
• 特定保健指導の実施率の向上 ---------- 14
• 重症化予防対策の推進 ---------- 15
• コラボヘルスの推進 ---------- 16
• 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進 ---------- 17
• ジェネリック医薬品の使用促進 ---------- 18
• インセンティブ制度の周知広報 ---------- 19
• 地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信 --- 20
（３）組織運営体制
• ＯＪＴを中心とした人材育成、コンプライアンスの徹底 ---------- 21
• 費用対効果を踏まえたコスト削減等 ---------- 22

令和5年度　重要業績評価指標ＫＰＩ達成状況（基盤的保険者機能）

具体的施策	ＫＰＩ設定項目		結　果	達成状況
サービス水準の向上	【業務G】 サービススタンダードの達成状況（給付金申請書受付日から10営業日以内の支給）	100%	100%	達成
	【業務G】 現金給付等の申請に係る郵送化率	96.0%以上	87.8%	未達成
被扶養者資格の再確認の徹底	【業務G】 被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	94.2%以上	94.5%	達成
柔道整復施術療養費の照会業務の強化	【業務G】 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上かつ月15日以上の施術の申請の割合	0.40%以下	0.40%	達成
効果的なレセプト点検の推進	【レセプトG】 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.384%以上	0.436%	達成
	【レセプトG】 協会けんぽの再審査１件当たりの査定額を対前年度以上とする	5,020円以上	5,447円	達成
返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	【レセプトG】 資格喪失後１か月以内の保険証回収率	93.19%以上	91.45%	未達成
	【レセプトG】 資格喪失後受診に係る返納金債権の回収率	72.03%以上	76.33%	達成

令和5年度　重要業績評価指標ＫＰＩ達成状況（戦略的保険者機能）

具体的施策	ＫＰＩ設定項目		結　果	達成状況
特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	【保健G】 生活習慣病予防健診受診率	70.2%以上	70.4%	達成
	【保健G】 事業者健診データ取得率	10.2%以上	8.5%	未達成
	【保健G】 被扶養者の特定健診受診率	28.7%以上	30.1%	達成
特定保健指導の実施率の向上	【保健G】 ①被保険者の特定保健指導実施率	37.6%以上	15.7%	未達成
	【保健G】 ②被扶養者の特定保健指導実施率	19.7%以上	17.0%	未達成
重症化予防対策の推進	【保健G】 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	13.1%以上	7.8%	未達成
コラボヘルスの推進	【企画総務G】 健康宣言事業所数	810事業所以上	758事業所	未達成
広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	【企画総務G】 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	58.8%以上	58.83%	達成

令和5年度　重要業績評価指標ＫＰＩ達成状況（戦略的保険者機能）

具体的施策	ＫＰＩ設定項目		結　果	達成状況
ジェネリック医薬品の使用促進	【企画総務G】 協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合	80.0%以上	79.9% （令和6年2月現在）	未達成

令和5年度　重要業績評価指標ＫＰＩ達成状況（組織･運営体制）

具体的施策	ＫＰＩ設定項目		結　果	達成状況
地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信	【企画総務G】 効率的･効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する	意見発信	2件	達成
費用対効果を踏まえたコスト削減等	【企画総務G】 一般競争入札に占める一者応札案件の割合	20%以下 ※入札案件4件以下の場合は、1件以下	20% （2件/10件）	達成

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

サービス水準の向上

KPI 目標	【業務G】 ①サービススタンダード（※）の達成状況を100%とする ②現金給付等の申請に係る郵送化率を96.0%以上とする （※）傷病手当金など加入者にとって緊急性がある給付金については、受付から10営業日以内に支給を行なうこととしています。	KPI 結果	① 100% （前年度100%） ② 87.8% （前年度89.7%）
取組 内容	①サービススタンダードの達成状況 ●システム刷新後、初めて通年で自動審査を行ったが、柔軟な事務処理体制で目標達成に取り組んだ。 （参考：令和6年1～3月に支給決定をした傷病手当金の自動審査の件数と割合：659件28.3%） ●傷病手当金の支給決定件数が3,704件減少。新型コロナウイルスによる申請が減った事が主な要因。 （令和5年度支給決定件数：13,467件） （令和4年度支給決定件数：17,171件）　（令和3年度：12,425件） ②現金給付等の申請に係る郵送化率 ●各種申請書類は郵送にて届け出いただくよう、納入告知書（R5.5月号）に同封するチラシで広報を実施。 ●電話でのお問い合わせ対応時に、郵送による申請を案内することを徹底。		
評価 結果	①サービススタンダードの達成状況 ● KPI目標を達成 ②現金給付等の申請に係る郵送化率 ● 前年度を下回り、KPIの達成には至らず。 ● 令和6年度は広報回数を増加させること及び電話問い合わせ時の郵送案内の徹底を強化していく。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	① ○ ② △

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

現金給付の適正化の推進

KPI 目標	【業務G】 ・設定なし	KPI 結果	―
取組 内容	●事業所が遡及の報酬変更を届け出たことで、傷病手当金等の追加給付を行った申請（151件）について事後調査を実施した。 ・調査内容を給付適正化プロジェクト会議（※）に報告　⇒　すべて適正と判断された （※）支部長以下、高知支部幹部がメンバーとなり、支給決定した給付金等が真に適正なものであるかの事後検証を定期的に行なっています。例えば給付金目的で報酬を不当に高く設定しているような疑いが持たれる場合、会議の議決に基づいて、事業所の実地調査を行なうなどの取り組みを行ないます。 ●本部から提供される傷病手当金と障害年金等との併給調整対象データについて、事務処理手順書に基づき、確実な調整の実施。 （令和5年度返納金調定：75件　19,177,114円） （令和4年度返納金調定：78件　14,134,278円）		
評価 結果	●不正請求の疑いがある事案への重点審査及び確実な併給調整が行えている。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

被扶養者資格の再確認の徹底

KPI 目標	【業務G】 被扶養者資格の再確認対象事業所からの確認書の提出率を94.2％以上とする	KPI 結果	94.5% （前年度94.1%）
取組 内容	●未送達事業所にかかる調査を確実に実施する。 ・未送達事業所数：17事業所 ・事業所への電話連絡及び日本年金機構への調査依頼により15事業所は判明。 ●未提出事業所への提出勧奨を効率的に実施する。 ・支部独自の文書勧奨の実施。（1,094事業所） ・業務グループ職員による電話勧奨の実施。（250事業所） ・未提出事業所を受託する社会保険労務士事務所に対する電話勧奨の実施。（15社労士事務所）		
評価 結果	● KPI達成。 （令和5年度送付対象事業所数：7,268件　提出事業所数：6,869件） （令和4年度送付対象事業所数：7,419件　提出事業所数：6,982件） 扶養削除実績：　削除届受付件数：　383件　（前年度　492件） 扶養削除人数　：　403名　（前年度　541名）	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

柔道整復施術療養費の照会業務の強化

KPI 目標	【業務G】 柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所３部位以上、かつ月15日以上の施術の申請の割合について、対前年度（0.40%）以下とする（※） （※）不要な部位や不必要な期間の施術など、不正が行われていないかを確認し、医療費の支出を抑制するための目標です。	KPI 結果	0.40%
取組 内容	●多部位【施術箇所が３部位以上】かつ、頻回【施術日数が月15日以上】の申請や長期施術等を対象に受診者に対する照会文書の送付。（R5：1,266件、前年度：1,095件） ●不正請求が疑われる施術所に対して面接確認委員会（呼び出しによる調査）を実施。（１施術所） ●すべての施術所に「柔道整復師施術療養費の申請における留意点等」を記載した通知書を送付。 ●請求件数における3部位による申請割合が高い施術所に対する注意喚起文書の送付。（１施術所） ●自家診療の疑いがある施術所に対し、警告文書を送付。（１施術所、3名）		
評価 結果	上記の取り組みにより、KPI達成 ・請求件数：69,582件（前年度：71,587件） ・3部位15日以上：275件（前年度：283件）	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

限度額適用認定証の利用促進

KPI 目標	【業務G】 ・設定なし	KPI 結果	―
取組 内容	●医療費が高額になるときには限度額適用認定証をご利用いただけるよう、納入告知書（R5.11月号）に同封するチラシで広報を実施。 ●複数の医療機関に限度額申請書セット（のべ3,190セット）を送付。 ●加入者様からのお問い合わせ時は、マイナ保険証を積極的にご利用いただくようオンライン資格確認で限度額が確認できることを説明。		
評価 結果	●今後、マイナンバーによるオンライン資格確認が普及すれば限度額認定証の需要はなくなる。 ●マイナ保険証の利用率を向上させるため、令和6年度から申請書セットの依頼があった医療機関にオンライン資格確認への移行を促すための通知文書を同封していく。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

効果的なレセプト点検の推進

KPI 目標	【レセプトG】 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率（※）について対前年度（0.379%）以上とする （※）査定率とは、言い換えますと、保険請求として認めるべきではないレセプトの「発見率」です。医療機関等から請求を受けたレセプトを事後に点検し、不当なものについては支払いを行わないことで、医療費抑制に寄与しています。	KPI 結果	0.436%
取組 内容	●「レセプト内容点検行動計画」に基づき重点４方針（進捗管理の徹底、点検員のスキルアップ、効率的かつ効果的な点検の推進、支払基金との連携）を確実に取り組み、毎月の取組内容を確認のうえ翌月以降の取組みに活かした。 ●点検員毎の再審査請求結果（診療観点）を分析し、点検員の点検傾向と得意・不得手を把握し、毎月の面談指導において点検員の目標達成の支援を行った。 ●支払基金に対しては、従前からの協議に加え情報交換を積極的に行った。		
評価 結果	●査定率（合算）の指標については、数値目標は達成しており全国順位は13位である。	自己 評価	○

	高知支部			全国		
	合算	支払基金（高知）	協会けんぽ（高知）	合算	支払基金（全国）	協会けんぽ（全国）
令和５年度	0.436	0.232	0.204	0.423	0.267	0.156
令和４年度	0.384	0.220	0.164	0.337	0.231	0.106
増減	0.052	0.012	0.040	0.086	0.036	0.050

単位　%

◎：目標を大きく上回った
○：目標は概ね達成した
△：目標を達成できていない

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

効果的なレセプト点検の推進

KPI 目標	【レセプトG】 協会けんぽの再審査１件当たりの査定額（※）を対前年度（5,020円）以上とする （※）査定額とは、言い換えますと、レセプト点検の結果保険請求を却下した「医療費抑制額」です。限られた時間で点検を行なうにあたり、1件当たりの額がより高いものになるよう様々な取り組みを行なっています。	KPI 結果	5,447円
取組 内容	● 高額なレセプト（主に入院）を重視する点検を実施している。 ● なお、目標とは裏腹ではあるが、低額なレセプトを見つけた場合でも医療費の適正化や医療機関への牽制の観点から、再審査の申し出を行っている。		
評価 結果	● 全国平均は8,472円であり、高知支部は全国順位においては41位となっている。順位の低い理由として考えられることは、全国他支部では時間や人員の関係上、高額なレセプトの点検のみを行なうことが多く、総じて平均が高くなる傾向があるが、高知支部では高額レセプトのみならず、低額レセプトの点検まで実施できていることで、平均が下がってしまうところにある。このことにより、KPIにおける順位（評価）は低下するが、医療費抑制の本来の観点からいえば、可能な限り多くの点検を実施するべきであって、総額の効果を高めるべきと考える。今後も従来の取り組み方針を継続したい。	自己 評価	○

	高知	全国
令和５年度	5,447	8,472
令和４年度	5,020	7,125
増減	427	1,347

単位　円

◎：目標を大きく上回った
○：目標は概ね達成した
△：目標を達成できていない

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

効果的なレセプト点検の推進

KPI 目標	【レセプトG】 ・設定なし	KPI 結果	－

取組内容

【資格点検】　（※）保険証の加入資格があるか（退職等により資格喪失していないか）の点検です。

●資格喪失後受診等に係る疑義レセプトについて全件点検を行い、必要に応じて医療機関照会を実施し、レセプトの返戻および返還請求へ繋げた。

【外傷点検】　（※）加害者によって生じた医療費は加害者が負担することになるため、点検を行なって不要な医療費を抑制します。

●外傷性病名（3,000点以上）にかかるレセプトについて、加入者あて負傷原因照会を実施し、返還請求および損害賠償請求等に繋げた。

評価結果

● 進捗管理はシステムを活用し、適切なタイミングとモレがないように行っている。

加入者一人当たり点検効果額

	資格点検		外傷点検	
	高知	全国	高知	全国
令和５年度	2,217	1,911	411	289
令和４年度	2,015	1,890	189	266
増減	202	21	222	23

単位　円

自己評価　○

◎：目標を大きく上回った
○：目標は概ね達成した
△：目標を達成できていない

（１）基盤的保険者機能　　令和5年度評価結果

返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

KPI 目標	【レセプトG】 ①資格喪失後１か月以内の保険証回収率を対前年度（93.19%）以上とする ②資格喪失後受診に係る返納金債権の回収率を対年度（72.03%）以上とする	KPI 結果	①91.45% ②76.33%

取組内容

【保険証回収】

●日本年金機構の資格喪失処理日後9日目に初回催告、さらにその後、10日刻みで2次催告を実施した。あわせて、証回収不能届に基づき電話番号が判明した者には、対象者全員に電話による返納催告を実施した。

【債権（資格喪失後受診）回収】

●調定から６か月以内の初動対応を重視するとともに保険者間調整（※）を積極的に推進した。保険者間調整件数は年間目標をわずかに下回ったが、調整金額は目標を1,000万円上回った（高額債権者あり）。

●法的措置の実施は2名。

（※）協会けんぽと他保険者（国保など）間で直接清算する方法をいいます。個人による実際の返還が不要になります。

評価結果

●保険証回収率は前年度より1.74%低くなったが、事務レベルは前年度と同様な内容である。返納金は保険者間調整を積極的に勧めており、回収率の全国順位は8位である。

	回収率（保険証）		回収率（返納金）	
	高知	全国	高知	全国
令和５年度	91.45	82.10	76.33	53.29
令和４年度	93.19	86.27	72.03	54.35
増減	-1.74	-4.17	4.30	-1.06

単位　%

自己評価

◎：目標を大きく上回った
○：目標は概ね達成した
△：目標を達成できていない

○

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上

KPI 目標	【保健G】 ① 生活習慣病予防健診受診率　70.2%以上 ② 事業者健診データ取得率　10.2%以上 ③ 被扶養者の特定健診受診率　28.7%以上	KPI 結果	① 70.4% ② 8.5% ③ 30.1%
取組 内容	① 健診機関より、受診勧奨を実施する体制を整備し、目標件数の達成状況に応じたインセンティブ契約を締結した。 ② 事業者健診データ取得業務を外部委託し、取得率の向上を図った。 ③ 特定健診の集団健診（がん検診同時）を県内各地で実施し、受診率の向上を図った。また、特定健診の未受診者対策として、圧着リーフレットを用いた受診勧奨を年度末にかけて実施した。		
評価 結果	① インセンティブ契約を結んだ9機関のうち5機関が目標達成（前年度比＋758件） ② 外部委託の事業者健診データ取得が順調に推移し、想定件数を上回ったため、追加予算措置で対応（想定件数より700件程度増加）。 ③ イオンモール高知、高知市保健福祉センター、南国市保健福祉センター（新設）など6地区延べ23日程で集団健診を実施。また、特定健診未受診者14,251人（延べ23,000人）に対して案内を送付し、うち約16.9%の受診を確認した。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

特定保健指導の実施率の向上

KPI 目標	【保健G】 ① 被保険者の特定保健指導実施率　37.6%以上 ② 被扶養者の特定保健指導実施率　19.7%以上	KPI 結果	①15.7% ②17.0%
取組 内容	①被保険者 ・特定保健指導専門機関と契約し、平日だけでなく休日や夜間の指導にも対応し利用拡大を図った。 ・専門機関の活用や健診機関からの事業者健診データの早期取得を調整し、保健指導の案内率向上を図った。 ②被扶養者 扶養家族の集団健診当日の特定保健指導を継続。		
評価 結果	①被保険者 ・特定保健指導専門機関への委託により実績評価者数は増加したが、全体として目標数に届いておらず、特定保健指導を受け入れてもらえる事業所の開拓が急務となっている。 ②被扶養者 ・扶養家族の保健指導については、後日の案内よりも集団健診当日に初回面談を受けていただくことが圧倒的に多いため、今後も健診機関との連携を軸に施策を検討していく。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	△

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

重症化予防対策の推進

KPI 目標	【保健G】 受診勧奨後３か月以内に医療機関を受診した者の割合を13.1％以上とする	KPI 結果	7.8%
取組 内容	①専門業者による未治療者受診勧奨委託（文書勧奨3,044件） ②生活習慣病予防健診実施機関での血圧・血糖未治療者への受診勧奨（健診当日の勧奨718件） ③自営保健指導者による受診勧奨体制の構築（電話勧奨296件）		
評価 結果	①専門業者や自営保健指導者による受診勧奨体制を強化し、医療機関への受診を促進したが、結果として医療機関受診率が7.8%（全国43位）に低迷。 ②次年度は専門業者への委託内容を見直し、文書勧奨および電話勧奨を委託予定。また、健診機関との連携により、健診当日の医療機関受診勧奨の強化を図る。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	△

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

コラボヘルスの推進

KPI 目標	【企画総務G】 健康宣言事業所数を810事業所以上とする	KPI 結果	758社
取組 内容	●関係団体（産保センター、高知県（雇用労働課、保健政策課）、保険会社等）との連携により「高知家」健康企業宣言事業所、及び基本モデル切り替えの勧奨を依頼。 ●基本モデル未切り替え事業所に対し文書および戸別訪問による勧奨を実施。 （文書勧奨：586件、訪問勧奨：15件） ●保健指導者による切替勧奨サポートを実施。（切替勧奨サポート：保健指導訪問時に担当者等への声掛け）3月末までに65事業所へ勧奨、32事業所切替済み。 ●オンライン配信ツールを活用した健康づくり講座をR5.10から実施し、17事業所22回の受講実施。 事業所カルテや問診票で洗い出された事業所の健康課題を解決するため、事業所担当者、支部保健師、支部担当者で協議の上、食事や運動、喫煙、飲酒など事業所の課題に適した講座を選定し、Web会議アプリ「Zoom」を使用したオンライン講座を実施 ●そのほか、新規宣言事業所への電話によるフォローアップ、「職場の健康づくり応援研修会」開催、健康課題の多い業種団体へのアプローチ、イベント等で「糖化産物（AGEs）測定器」による測定会の実施等を行った。		
評価 結果	●「高知家」健康企業宣言事業所は前年度から51社増加し、758社となった。 ●基本モデルに沿った健康宣言への切り替えは前年度から261社増加し、362社が切り替え済みであるが、さらに切り替え勧奨をする必要がある。 ●令和6年度KPIは、宣言事業所数910事業所以上。引き続き、関係団体と連携し宣言事業所数の拡大を図るとともに、宣言事業所へのフォローアップを強化する。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	△

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

KPI 目標	【企画総務G】 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を58.8%以上とする	KPI 結果	58.83%
取組 内容	●被保険者70名以上の大規模事業所への電話勧奨や文書による登録勧奨のほか、納入告知書同封チラシ等を活用し、健康保険委員の登録勧奨を行った。 ●支部広報媒体（ホームページ、納入告知書同封チラシ、メールマガジン）を通じて、健康保険制度や健康づくりに関する情報を発信した。 ●日本年金機構と合同で「年金委員・健康保険委員表彰式・研修会」を開催し、健康保険委員としての永年の活動や功績に対して表彰を行った。また、研修会では産保センターと連携し、「メンタルヘルス　セルフケア」についての講演を行った。（R5.11）その他、社会保険委員研修会では、歯科衛生士会と連携し「働きざかりの歯周病予防」の講演を行った。 ●健康保険委員に対して、制度改正や健康づくりに関する情報誌の発行（年2回）、健康保険の事務手続きに関するパンフレットや健康づくりに関するチラシ等の配付を通じて、定期的な情報提供を行った。（年4回）		
評価 結果	●健康保険委員の委嘱者数について、令和6年３月末時点で2,061人（1,062事業所）。被保険者のカバー率は、58.83%（全国第19位）とKPIを達成した。 ●メールマガジンの登録者数は29件増加し、1,210件となった。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

ジェネリック医薬品の使用促進

KPI 目標	【企画総務G】 協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を年度末時点で80.0%以上とする	KPI 結果	79.9% （令和6年2月時点）
取組 内容	●上手な医療のかかり方とあわせて特設サイト・ミニ番組・TVCMを作成し、TV放送、YouTube、WEB広告で広報を展開。納入告知同封チラシやメールマガジン、利用促進ポスターでも特設サイトへ誘導。（R5.12～） ●「こうち春花まつり」での広報物配布、会場内看板広告により、使用促進にかかる広報を実施した。（R5.5） ●医療機関や調剤薬局に対し「見える化」ツールを送付した。（R6.1） ●調剤薬局を通じて、おくすり手帳ファイル、ポスターを配付した。（R5.11～） ●県内の人口比率が高く影響度の大きい高知市および高知県薬剤師会と連携し、高知市内の小中学校の全校生徒に対してジェネリック使用促進および公費併用による医療費の負担に関するチラシを配布し、医療費適正化広報を行った。（R5.12）		
評価 結果	●全国平均は83.7%であり、全国第45位。 ●特設サイト・ミニ番組・CM動画・WEB広告のバナー・「見える化」ツール送付封筒で支部独自のキャラクター「ジェネリッくま」とキャッチフレーズ「ジェネリクエスト」を使用したことによるイメージの統一感と、高知県で知名度のあるタレントを起用したことによる親近感のある広報となったのではと考える。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	△

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

インセンティブ制度の周知広報

KPI 目標	【企画総務G】 ・設定なし	KPI 結果	―
取組 内容	● 支部広報媒体や関係団体の広報誌等を通じて、インセンティブ制度の周知を図った。 ①新規宣言事業所へのチラシ送付 ②納入告知書同封チラシへの記事掲載（R5.4） ③高知商工会議所会報誌「会報」へのチラシ同封（R5.5） ● その他、マイナンバーと健康保険証の一体化（マイナ保険証）使用促進について、関係団体にポスターやチラシを配布し周知広報を行った。 ・高知県産業保健総合支援センター、高知県経営者協会、高知県商工会議所連合会 高知県中小企業団体連合会、明治安田生命、高知県社会保険労務士会、各商工会、 年金事務所等		
評価 結果	● 引き続き、丁寧な広報を実施することにより、健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診、ジェネリック医薬品の使用促進等、各評価指標における加入者や事業主の行動変容を促していく。 ● 令和６年はマイナンバーカードと健康保険証の一体化が行われることを踏まえ、本部と連携の上、「マイナンバーカードの取得」「マイナ保険証の利用登録」を呼びかける。併せて、保険証の新規発行が原則廃止された後の混乱を防ぐため、資格確認書等が発行されることなどの一体化に伴う変更点についても周知する。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った 〇：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（２）戦略的保険者機能　　令和5年度評価結果

地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信

KPI 目標	【企画総務G】 効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を実施する	KPI 結果	2 件
取組 内容	● 第１回高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会、令和５年度第１回地域医療構想調整会議連合会・・・R5.10.11（出席：支部長／傍聴：企画総務部長、業務部長、企画総務グループ長） 県の「必要病床数と病床機能報告の比較」データから医療提供体制に偏在があり、郡部の医療圏では今後、適切な医療が受けられなくならないよう、慎重に進めてもらいたい旨要望。また、県や医療関係者、保険者らと課題を共有したうえで、着実に構想を、医療提供体制の維持を、進めていただくよう要望。 ● 第2回高知県医療審議会保健医療計画評価推進部会、令和５年度第2回地域医療構想調整会議連合会・・・R5.11.30（出席：支部長／傍聴：企画総務部長、業務部長、企画総務グループ長） 協会けんぽの精神疾患に関する傷病手当金の推移を示し、「精神疾患」について質問と要望。また「がん」について、生活習慣病予防健診はがん検診も含んでいるため、県と連携して取り組んでいきたい旨や、「医薬品等の適正使用」について、地域フォーミュラリやバイオシミラーの普及促進は確実に進めていただきたい旨を要望。		
評価 結果	● 高知県においては、４つの構想区域（安芸、中央、高幡、幡多）に地域医療構想調整会議が設置されており、さらに中央区域には４つの部会（高知市、物部川、嶺北、仁淀川）がある。このうち、中央区域地域医療構想調整会議の物部川部会を除く５つの会議に、高知県保険者協議会の代表として協会けんぽの職員が出席している。 ● 協会けんぽの精神疾患に関する傷病手当金の推移を分析した結果、高知でもこの10年間で1.7倍ほど増加。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（３）組織運営体制　　令和5年度評価結果

ＯＪＴを中心とした人材育成、コンプライアンスの徹底

KPI 目標	【企画総務G】 ・設定なし	KPI 結果	―
取組 内容	●自己啓発に取り組むための支援として本部が実施する通信教育講座の斡旋について、積極的な受講を勧奨した。 ●必須研修（ハラスメント研修、情報セキュリティ研修、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修）はeラーニングにて全員が受講。ビジネススキル研修については「タイムマネジメント」に関する研修を実施した。 ●支部独自研修として、外部講師によるアンコンシャス・バイアス研修を実施した。（R6.1） ●コンプライアンス委員会、個人情報保護管理委員会を2回ずつ開催し、自主点検で指摘された事項を共有するとともに、改善策に向けたスキームを構築した。		
評価 結果	● アンコンシャス・バイアスのテーマは、受講者にとっても身近な内容で、アンケート結果でもほとんどの職員（93.8%）が今後の業務に役立つ研修だったとの回答であった。研修の目的でもあった支部の風通しの良さにも繋がる研修であった。 ● 本部が示している職員像（創造とチャレンジ、協働、専門性、加入者本位、安心と信頼）を意識しながら、より一層、職場におけるOJTを中心した人材育成に力を入れていく。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○

（３）組織運営体制　　令和5年度評価結果

費用対効果を踏まえたコスト削減等

KPI 目標	【企画総務G】 一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、20%以下とする。 ただし、入札件数の見込み件数が4件以下の場合は一者応札件数を1件以下とする。	KPI 結果	2件/10件
取組 内容	●調達事務において、より競争性、公平性を高めるため、複数の事業者への呼び掛けをおこなうとともに、十分な公告期間および履行期間を設けるよう努めた。 ●消耗品について、web一括購入や適切な在庫管理により、コスト削減を図った。		
評価 結果	●支部移転に伴う入札案件が6件あった。 ●一者応札になった案件については、要因の把握と分析に努め、改善策を図った。 ●引き続き、公告後の積極的な周知や、十分な公告期間・履行期間の確保により、少しでも多くの事業者に参加していただけるよう努める。	自己 評価 ◎：目標を大きく上回った ○：目標は概ね達成した △：目標を達成できていない	○